

事務事業名		選挙管理委員会運営事務			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目				
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進			☐ 単年度のみ		01	02	04	01	01
所属	根拠法令	公職選挙法			☒ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)						
	部課名	選挙管理委員会事務局			☐ 期間限定複数年度						
	課長名	鈴木 昭浩			【計画期間】						
	係名	電話 0192-27-3111			年度 ～ 年度						
	担当者	大浦 公友			内線 192		※全体計画欄の総投入量を記入				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
選挙法令に基づく報告事項、議案等の審議のための定例及び臨時の委員会の開催とそれに伴う事務執行。 委員会は、定例会が月1回、臨時会は選挙執行時に4～5回開催している。委員会の議案は、各種選挙を執行するための決議事項の他、選挙人名簿の調整管理、選挙制度改正及び事務事業の変更に伴う選挙執行規程の改正等を行う。 委員会は、事務局で作成した議案を4名の委員が審議する形式で行われる。 委員の任期は4年で、現在の委員の任期は平成28年4月7日。 事業費は毎月定額で支出される委員報酬が支出の主な内訳である。											
全体計画(※期間限定複数年度のみ)											
総投入量 (千円)	事業費 内訳	財源 内訳	国庫支出金								
			都道府県支出金								
			地方債								
			その他								
			一般財源								
			事業費計 (A)		0						
			正規職員従事人数								
人件費	延べ業務時間										
	人件費計 (B)		0								
	トータルコスト(A)+(B)		0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 定例会(月1回開催)及び臨時会(一つの選挙について4～5回開催)の開催準備に係る事務執行と委員会の開催 委員(4名)への報酬の支払い 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
					ア	委員会開催件数			回	
					イ	選挙件数			回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 選挙管理委員会 各委員					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称				単位	
					カ	委員数			人	
					キ					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 現状、課題を的確に捉えた審議の場とする					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	的確に審議がなされた選挙管理委員会会合数			回	
					シ					
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的に質の高い行政運営がなされている					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千円		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
		都道府県支出金	千円	44	53	43	40	40	40	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,967	2,509	2,099	2,099	2,099	2,099	
		事業費計 (A)	千円	2,011	2,562	2,142	2,139	2,139	2,139	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	230	370	700	250	250	250	
		人件費計 (B)	千円	920	1,480	2,800	1,000	1,000	1,000	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,931	4,042	4,942	3,139	3,139	3,139	
	⑤活動指標	ア	回	13	20	15	15	15	15	
		イ	回	2	3	1	2	2	3	
		ウ								
	⑥対象指標	カ	人	4	4	4	4	4	4	
キ										
ク										
⑦成果指標	サ	回	13	20	15	15	15	15		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0763	事務事業名	選挙管理委員会運営事務
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
地方自治法に基づく各自治体の選挙管理委員会設置規定による。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
住民の投票率は全国平均より高く、選挙に関する意識が高いものと言えるが、震災後は選挙を取り巻く環境が一変していることから、今後、復興状況に合わせた事務執行が求められる。
また、公選法改正や執行経費の見直しがあり、今後も適切かつ迅速な選挙執行体制を継続するとともに、選挙運動が多様化する中、法令違反の発生を未然に防ぐ取り組みが必要とされる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
有権者からは公平平等で分かり易く、迅速かつ経費を節減した選挙の執行を望む意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 選挙制度を整え、投票環境を向上させることは、効率的で質の高い行政運営の推進と結びつくと考えられる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 法律に基づいて設置されるため。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図ともに、現状で適切と考えられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 委員会の運営に係る情報提供等のための資料収集等をさらに充実させていきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 選挙の執行が停止する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 法律に基づき執行されているものであり、他の方法、類似事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費の支出内訳は、市の規定に基づく委員報酬が大部分を占めており、現状での改善余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在も必要最小限の予算で対応しており、委員会の充実のためには現状を維持していく必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市民(有権者)に等しく公平な選挙機会を提供している。

事務事業ID	0763	事務事業名	選挙管理委員会運営事務
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	平成25年度の委員会は、選挙に伴う臨時会と合わせて15回開催し、適正な選挙執行のための各種審議を行っている。 法律及び諸規程に基づいた適正な事務執行を心がけているが、委員会の運営をより充実したものとするために、さらに各種選挙関連の資料等の情報提供を行い、委員会の充実を図りたい。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 選挙制度における現状と課題を的確に捉え、有権者の現状にあった投票環境の整備のための委員会運営を執行していく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
選挙制度及び選挙の執行に関する情報収集とその分析が常に必要である。 解決策として、各種研修会への出席や、各マスメディア、インターネットを利用しながら、国、県及び他の自治体における動向及び取り組み成果等の情報把握に努める。																						

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	選挙管理委員会事務局長 鈴木昭浩

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	選挙制度の改正、事務の電算化や開票作業の迅速化などに対応した委員会運営を推進する必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 入場券のバーコード化は、期日前投票及び当日投票に導入済みであるが、このほかインターネット選挙やマニフェスト選挙の研究等に取り組む必要がある。 また、事務の電算化と併せて、開票事務の迅速化も推進する必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項